

平成18年12月25日



阪神電気鉄道株式会社

リニューアル後の阪神甲子園球場に 新規映像装置(リボン状LEDボード)を導入します

阪神甲子園球場は、より安全・快適なスタジアムを目指して、全面的なリニューアル工事を、平成19(2007)年野球シーズン終了直後から実施しますが、球場本体が完成する平成21(2009)年3月に、新規映像装置として、リボン状LEDボード(※)を導入します。

リボン状LEDボードは、新銀傘下のスイート席(仮称)のバルコニー・フィールド側壁面部分に、高さが約1.2mで左右が約250mにも及ぶ大きさに設置するもので、現時点で日本国内で導入している球場はありません。

これまでにはない新しい広告媒体として使用できるだけでなく、球場内の演出においても、横に長い形状を活かし、長文のメッセージを流したり、ボードの中を映像が走ったりと、ライブ感のある仕掛けが可能となります。

また、外野席からの視認性が高いため、内野席からの視認性が高い既存のスコアボードと合わせることで、球場の一体感がより高まり、スタンドのお客様を更に盛り上げることができます。

リボン状LEDボードの概要は以下のとおりです。

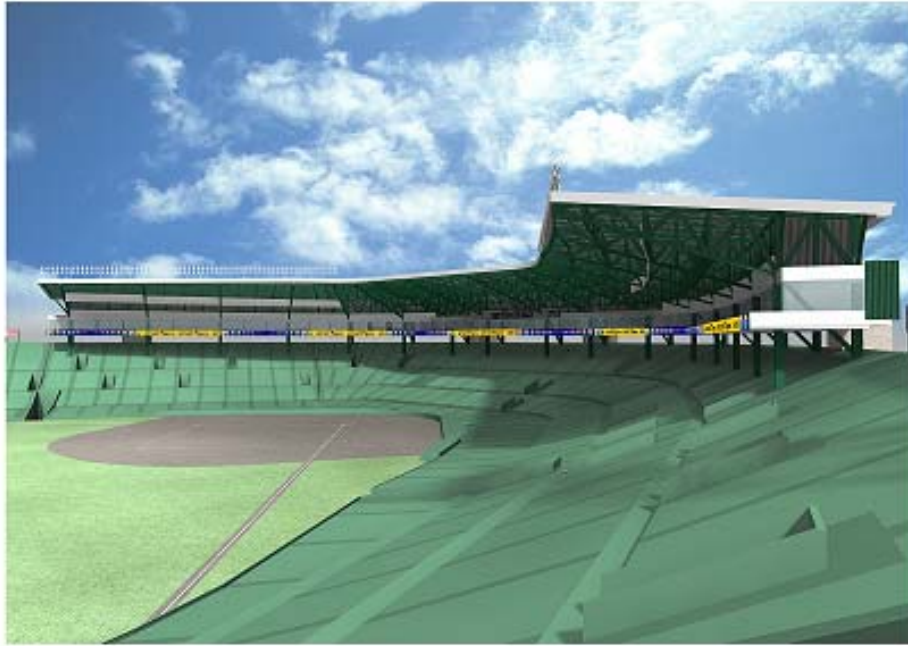
【リボン状LEDボードの概要】

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 1 完 成 | 平成21(2009)年3月(球場本体のリニューアル完成時) |
| 2 設置場所 | スイート席(仮称)バルコニー・フィールド側壁面部分 |
| 3 寸 法 | 高さ約1.2m×左右約250m |

※ 電光表示式の情報提供ボードで、LEDによるフルカラーでビデオ映像が表示できる。メジャーリーグの球場では導入されている例はあるが、現在、日本国内で導入している球場はない。

米国ではファシアボード(Fascia Board)とも呼ばれている。

以 上



リボン状LEDボード全景



リボン状LEDボード拡大図